

# 世界優良株ファンド (3ヵ月決算型) 愛称:プライム コレクション

運用報告書 (第17作成期) 第33期 (決算日2011年10月17日)  
第34期 (決算日2012年1月16日)

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	信託期間は原則無期限です。	
運用方針	信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。 ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・インターナショナルから投資助言を受けます。	
主要運用対象	ベビーファンド	世界優良株マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	主として、世界主要国（日本を除く）の金融商品取引所に上場されている企業の株式およびそれに準ずる株式に投資します。
組入制限	ベビーファンド	株式への実質投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	株式への投資には制限を設けません。 外貨建資産への投資には制限を設けません。
分配方針	分配金額は、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。	

## お客様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。  
さて、「世界優良株ファンド(3ヵ月決算型)」は、2011年10月17日に第33期決算を、2012年1月16日に第34期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。  
今後ともより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

## T&Dアセットマネジメント株式会社

〒105-0022 東京都港区海岸1-2-3

商品内容に関するお問い合わせ、資料請求は、下記にご連絡下さい。

連絡先 03-3434-5544

(受付時間：営業日の午前9時～午後5時)

インターネットにより、ファンドのご案内、運用実績等の情報提供を行っております。

<http://www.tdasset.co.jp/>

---

## 目次

---

■ 最近5作成期の運用実績、基準価額の推移等	
・最近5作成期の運用実績.....	1
・当作成期中の基準価額と市況等の推移.....	2
■ 当作成期の運用状況と今後の運用方針	
・市況概況.....	3
ベビーファンドの	
・運用概況.....	4
・分配金.....	5
マザーファンドの	
・運用概況.....	6
ベビーファンド・マザーファンドの	
・今後の運用方針.....	8
■ 1万口当たりの費用明細.....	9
■ 売買および取引の状況.....	9
■ 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合.....	9
■ 利害関係人との取引状況等.....	10
■ 組入資産の明細.....	10
■ 投資信託財産の構成.....	10
■ 資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況	
・資産、負債、元本および基準価額の状況.....	11
・損益の状況.....	11
■ 分配金のご案内.....	12
■ 世界優良株マザーファンド（第17期運用報告書）.....	13

## 最近5作成期の運用実績、基準価額の推移等

### 最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額			MSCI-KOKUSAIインデックス (配当込み、円換算)		株式 組入比率	株式 先物比率	純資産 総額
		(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
第13作成期	25期 (2009年10月15日)	円 5,798	円 50	% 18.0	1,088.27	% 20.1	% 96.6	% —	百万円 5,375
	26期 (2010年1月15日)	6,112	50	6.3	1,154.54	6.1	96.1	—	5,041
第14作成期	27期 (2010年4月15日)	6,325	50	4.3	1,222.43	5.9	95.1	—	5,137
	28期 (2010年7月15日)	5,300	50	△15.4	1,043.48	△14.6	93.5	—	4,175
第15作成期	29期 (2010年10月15日)	5,275	50	0.5	1,073.82	2.9	94.4	—	3,980
	30期 (2011年1月17日)	5,679	50	8.6	1,169.07	8.9	93.3	—	4,253
第16作成期	31期 (2011年4月15日)	5,741	50	2.0	1,227.41	5.0	93.2	—	4,077
	32期 (2011年7月15日)	5,248	50	△7.7	1,141.04	△7.0	90.4	—	3,664
第17作成期	33期 (2011年10月17日)	4,405	50	△15.1	1,016.91	△10.9	90.5	—	3,062
	34期 (2012年1月16日)	4,475	50	2.7	1,032.75	1.6	93.1	—	2,895

(注) 基準価額および分配金は1万円当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、組入比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは、ベンチマークを設定しておりません。参考指数であるMSCI-KOKUSAIインデックス(配当込み、円換算)は、MSCI-KOKUSAIインデックス(ドルベース)【出所:MSCI】をもとに当社において円換算したものです。

なお、指数算出にあたっては、基準価額への反映を考慮して営業日前日の指数を営業日当日の三菱東京UFJ銀行が発表する対顧客電信売買相場の仲値(TTM)で円換算しております。

## 当作成期中の基準価額と市況等の推移

年	月	日	基準価額		MSCI-KOKUSAIインデックス (配当込み、円換算)		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
				騰落率	(参考指数)	騰落率		
第 33 期	期首 (第32期末)		円	%		%		
	2011年7月15日		5,248	—	1,141.04	—	90.4	—
	7月末		5,135	△ 2.2	1,123.66	△ 1.5	92.1	—
	8月末		4,449	△15.2	1,012.49	△11.3	89.2	—
	9月末		4,179	△20.4	952.36	△16.5	89.4	—
	期 末							
	2011年10月17日		4,455	△15.1	1,016.91	△10.9	90.5	—
第 34 期	期首 (第33期末)							
	2011年10月17日		4,405	—	1,016.91	—	90.5	—
	10月末		4,629	5.1	1,082.06	6.4	90.9	—
	11月末		4,295	△ 2.5	990.22	△ 2.6	90.5	—
	12月末		4,450	1.0	1,024.25	0.7	93.1	—
	期 末							
	2012年1月16日		4,525	2.7	1,032.75	1.6	93.1	—

(注) 基準価額は1万円当たり。期末基準価額は分配金込み。騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、組入比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは、ベンチマークを設定しておりません。参考指数であるMSCI-KOKUSAIインデックス（配当込み、円換算）は、MSCI-KOKUSAIインデックス（ドルベース）【出所：MSCI】をもとに当社において円換算したものです。

なお、指数算出にあたっては、基準価額への反映を考慮して営業日前日の指数を営業日当日の三菱東京UFJ銀行が発表する対顧客電信売買相場の仲値（TTM）で円換算しております。

\*MSCI-KOKUSAIインデックスはMSCIが開発した株価指数で、日本を除く世界の主要国の株式市場の動きを捉える指数です。当インデックスに関する全ての情報は、信頼の置ける情報源から得たものでありますが、その正確性及び完全性をMSCIは何ら保証するものではありません。その著作権はMSCIに帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的な一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いて出版物、資料、データ等の全部または一部を複製・頒布・使用等することは禁じられています。

■市況概況

①作成期首～2011年10月

欧州債務危機の拡大懸念および米国債の格下げなどを背景に軟調な展開

- ・米国株式市場は、欧州債務危機の拡大懸念やスタンダード&プアーズによる米国債の格下げなどからリスク回避的になり、下落する展開となりました。その後もグローバル景気の失速懸念などで株価は10月上旬まで下落基調となりました。しかし、10月中旬以降は、欧州債務危機への対応策に進展がみられたことおよび米マクロ指標が景気の底堅さを示唆したことから株価は反発しました。
- ・欧州株式市場は、ギリシャの債務危機がイタリアやスペインにも波及するとの懸念が広がったことや欧州銀行システムの健全性を巡る懸念から、下落する展開となりました。しかし10月には、債務危機の克服に向けた包括策などを受けリスク回避志向が後退し、株価は反発しました。
- ・為替市場は、作成期首79円台で始まった米ドル／円が、米連邦債務上限引上げ問題への懸念や米国債格下げ、米景気の失速懸念などから、10月下旬に75円台まで下落しました。その後、政府・日銀による大規模な為替介入により、10月末に77円台まで反発しました。作成期首112円台で始まったユーロ／円は、ギリシャの債務危機がイタリアなどに波及するとの懸念が広がったことから、10月上旬に101円台までユーロが下落しましたが、その後、欧州債務危機への政策対応の進展と為替介入により、10月末に109円台まで反発しました。



②2011年11月～作成期末

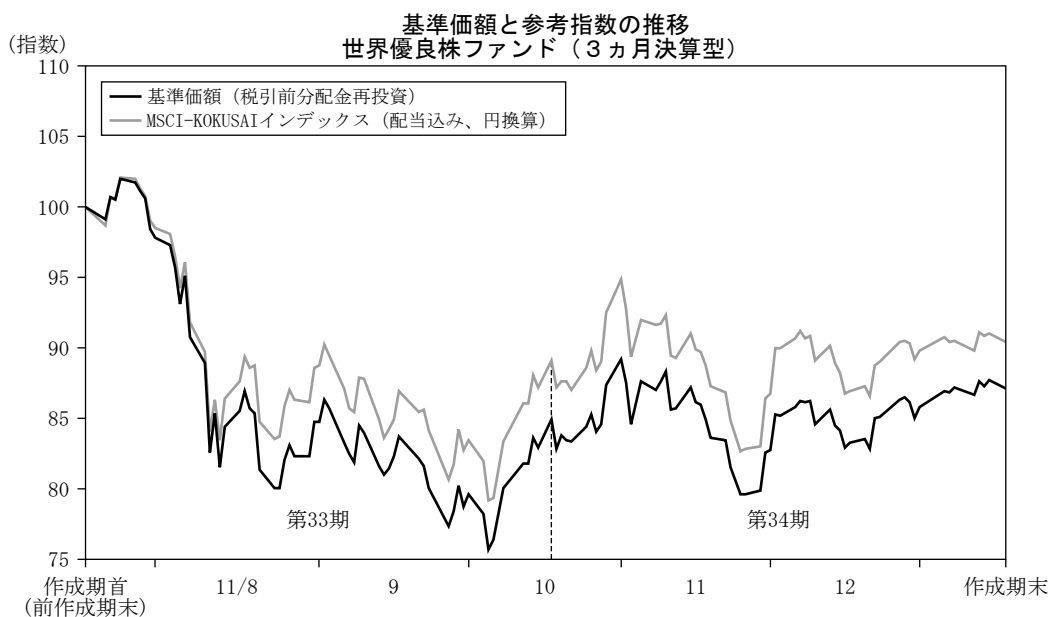
主要6中央銀行によるドル資金の供給拡充策発表や好調な米マクロ指標を背景に底堅い展開

- ・米国株式市場は、11月にイタリアの債務危機懸念が高まったことが嫌気され軟調な展開となる場面がありましたが、主要6中央銀行によるドル資金の供給拡充策の合意、米ホリデー商戦が好調であったことや好調な米マクロ指標や給与税減税延長などが好感されたことなどから、作成期末にかけては堅調な展開となりました。
- ・欧州株式市場は、欧州債務危機や銀行システムの健全性を巡る懸念が根強い中、売り圧力に押され、上値の重い展開となりました。
- ・為替市場は、米ドル／円は、概ね76～79円のレンジでの推移となりました。ユーロ／円は、11月上旬に107円台で推移していましたが、イタリアの債務危機への懸念など根強い欧州債務危機懸念から下落基調となり、作成期末にかけては97円台まで下落しました。

## ■運用概況

### 1. 基準価額の推移

当ファンドの基準価額は作成期首の5,248円からスタートし、作成期末は4,575円（第33期、第34期税引前分配金込み）となりました。作成期を通じて基準価額は12.8%の下落、参考指標であるMSCI-KOKUSAIインデックス（配当込み、円換算）は9.5%の下落となり、基準価額は参考指数を3.3%下回りました。マザーファンドを通じて保有している株式の価格が下落したことや円高が基準価額の下落要因となりました。参考指数との比較では、CVSケアマーク（米・ヘルスケア）、ロウズ（米・小売）、US パンコープ（米・金融）などの株価が相対的に堅調であったことがプラスに寄与しました。一方で、CMEグループ（米・金融）、デボン・エナジー（米・エネルギー）、EMC（米・情報インフラ構築支援）などの株価が軟調であったことがマイナスに寄与しました。



（注）作成期首（前作成期末）を100として指数化。

決算期	期首(第32期末)	期中高値	期中安値	期 末
第33期	2011年7月15日	2011年7月22日	2011年10月4日	2011年10月17日
	5,248円	5,351円	3,972円	4,455円
決算期	期首(第33期末)	期中高値	期中安値	期 末
第34期	2011年10月17日	2011年10月31日	2011年11月25日	2012年1月16日
	4,405円	4,629円	4,132円	4,525円

（注）期末基準価額は第33期・第34期とも分配金（税引前）込み。

## 2. 組入比率の推移

当ファンドは、「世界優良株マザーファンド」受益証券を主要投資対象として、作成期を通じて同マザーファンドの組入比率を高位に保ち、実質株式組入比率は概ね88～94%程度の水準を維持しました。

## 3. 運用の概況

当ファンドは、作成期を通じて「世界優良株マザーファンド」受益証券を高位に組入れて運用を行ってまいりました。このため、実質的な運用概況はマザーファンドと同様となりましたので、マザーファンドの項で説明させていただきます。

### ■分配金

分配金につきましては、基準価額の水準等を考慮し、1万口（元本10,000円）当たり第33期、第34期ともに50円（税引前）とさせていただきます。なお、収益分配に充てなかった収益につきましては、信託財産に留保し運用の基本方針に基づいて運用いたします。

マザーファンドの運用経過は以下の通りです。

## 『世界優良株マザーファンド』

### ■運用概況

#### 1. 基準価額の推移

世界優良株マザーファンドの基準価額は、期首の9,939円からスタートし、期末は8,709円となりました。期を通じて基準価額は12.4%の下落、参考指数であるMSCI-KOKUSAIインデックス（配当込み、円換算）は9.5%の下落となり、基準価額は参考指数を2.9%下回りました。

#### 2. 組入比率の推移

主要投資対象である世界主要国（日本を除く）の金融商品取引所に上場されている企業の株式の組入比率は90～95%程度の水準を維持しました。

#### 3. 運用の概況

ボトムアップアプローチでの徹底したファンダメンタル分析と定量手法を用いて銘柄数を絞り込み、海外の優良企業に投資しました。長期的な値上がり益を獲得することを目標に運用を行いました。

#### 期首～2011年10月

企業収益見通しや株価バリュエーションを勘案し、銘柄入替を行いました。主な入替としては、ユニリーバ（オランダ・生活必需品）、BGグループ（英・エネルギー）、マイクロソフト（米・ソフトウェア）等の銘柄を新規に組入れました。一方で、バンク・オブ・アメリカ（米・金融）、ニューフィールド・エクスプロレーション（米・エネルギー）、ダウ・ケミカル（米・化学）等の銘柄を全て売却しました。

#### 2011年11月～期末

企業収益見通しや株価バリュエーションを勘案し、銘柄入替を行いました。主な入替としては、ノバルティス（スイス・医薬品）、セント・ジュード・メディカル（米・医療器具）を新規に組入れました。一方で、コムキャスト（米、ケーブルテレビ）、クアルコム（米・通信機器）等の銘柄を全て売却しました。

※文中の投資行動は、個別銘柄の売買等いかなる投資行動を推奨するものではありません。



(注) 期首（前期末）を100として指数化。

期首(前期末)	期中高値	期中安値	期末
2011年7月15日	2011年7月22日	2011年10月4日	2012年1月16日
9,939円	10,139円	7,514円	8,709円

#### 4. 国別比率・業種比率

ボトムアップアプローチによる銘柄選択の結果としての国別比率・業種比率という位置付けのため、見直しに基づく配分はいたしません。ただし、地域分散・業種分散を行い、バランスの良いポートフォリオ構築に努めました。

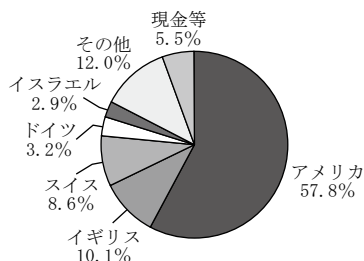
#### ＜世界優良株マザーファンドの組入状況＞

2012年1月16日現在

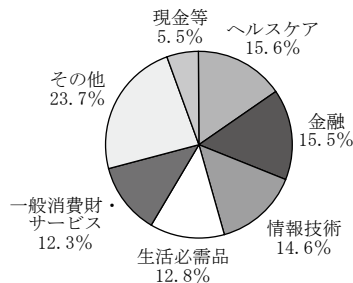
#### 組入上位10銘柄

銘柄	業種	比率	概要
EMC (アメリカ)	情報技術	4.4%	情報インフラ構築支援会社。企業向けのストレージシステム、ソフトウェア、ネットワーク、関連サービスを提供する。世界各国で事業を展開する。
ゼネラル・エレクトリック (アメリカ)	資本財・サービス	4.1%	金融サービスや技術・製造業等を幅広く手掛ける多角的企業。全国ネットのNBC放送の持株会社でもある。
ペプシコ (アメリカ)	生活必需品	3.6%	ソフトドリンク、ジュース、スナック食品の世界的なメーカー。Pepsi-Cola、Lay'sのポテトチップス等を販売する。世界で7UP商標権を所有する。
マイクロソフト (アメリカ)	情報技術	3.2%	Windowsの発売元である世界最大のソフトウェア会社。ソフトウェア製品の開発、製造、ライセンス供与、販売及びサポートを手掛ける。
CMEグループ (アメリカ)	金融	3.2%	デリバティブ取引所。先物、先物オプション、金利、株価指数、外国通貨、商品などの取引を手掛ける。デリバティブ商品の買い手と売り手による取引所の立会場や電子取引プラットフォームでの取引及び取引所外での取引を決済する。
バイエル (ドイツ)	ヘルスケア	3.2%	ヘルスケア及び農業製品、ポリマーのメーカー。製品は、アスピリン、抗生物質、抗感染薬、心臓血管、腫瘍、中枢神経関連の薬剤、店頭薬、診断薬、獣医学製品、収穫保護製品、プラスチックなど。
ウォルト・ディズニー (アメリカ)	一般消費財・サービス	3.1%	エンターテインメント会社。メディアネットワークをはじめ、スタジオ・エンターテインメント、テーマパークリゾート、インタラクティブメディア及び消費者向け商品等の事業を手掛ける。映画・テレビ番組・レコーディング商品の製作をはじめ、書籍・雑誌の発行を行う。
トラベラーズ・カンパニー (アメリカ)	金融	3.0%	保険・金融会社。財産賠償責任保険と資産管理サービスを提供する。独立代理店を通して、家財及び自動車保険も引受ける。
グーグル (アメリカ)	情報技術	3.0%	ウェブベースのサーチエンジン・プロバイダー。ウェブ、画像、グループ、ディレクトリ、ニュース検索等、さまざまな検索オプションを提供する。
テバ・ファーマシューティカル・インダストリーズ (イスラエル)	ヘルスケア	2.9%	グローバルな製薬会社。ジェネリック及びブランドの医薬品と医薬品原料を開発、製造販売する。

国別組入比率



業種別組入比率



(注) 当ページの表およびグラフにある比率は、世界優良株マザーファンドの純資産総額に対する比率です。

国別組入比率は各銘柄の法人登録国に基づいて算出しているため、組入資産の明細における比率とは一致しない場合があります。

業種分類はBloombergのデータをもとに当社が作成しております。

また、それぞれの項目は四捨五入して表示しています。

## ■今後の運用方針

### 1. 運用環境

- ・米国株式市場は、2011年秋口以降、雇用や消費に底堅さがみられており、今後も給与税減税の継続が見込まれることなどから雇用や消費に緩やかな伸びが予想されるなど、景気失速につながる米国経済のリスクは低いこと、F R B（米連邦準備制度理事会）の超金融緩和策の継続が見込まれることなどから、緩やかな上昇が想定されます。
- ・欧州株式市場は、E C B（欧州中央銀行）の国債買い取り策の積極化などの政策動向が注目されますが、財政政策が期待できない中でユーロ圏経済は景気後退が見込まれることなどから、当面は調整基調が続くことが想定されます。
- ・アジア株式市場では、金融引締め策から金融緩和策に転じた中国が一段の金融緩和策や財政拡張策を実施することが見込まれることから、中国経済は2012年4－6月期頃まで減速が続き、その後は前年同期比ベースで底打ちし、成長が加速してくると見えています。アジア株式市場は、当面は外部環境に左右され調整基調となることが想定されますが、徐々に株価が持ち直してくる展開を予想します。

### 2. 運用方針

#### 『世界優良株ファンド（3ヵ月決算型）』

引続き、「世界優良株マザーファンド」受益証券を投資対象とし、同マザーファンドを高位に組み入れて運用を行ってまいります。

#### 『世界優良株マザーファンド』

- ・個別銘柄選択についてはゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・インターナショナルの助言に基づき運用を行います。
- ・バリュエーションおよび収益モメンタムに注目し、ボトムアップアプローチにより各セクターから相対的に魅力度の高い銘柄を厳選します。
- ・セクター配分、地域配分はボトムアップアプローチによる銘柄選択の結果、決定します。
- ・銘柄選択は、バランスシートが健全で、長期的にキャッシュフロー創出力の高い企業を重視します。

1 万口（元本10,000円）当たりの費用明細（2011年7月16日から2012年1月16日まで）

費用の明細

項 目	第33期～第34期
(a) 信託報酬 ( 投 信 会 社 ) ( 販 売 会 社 ) ( 受 託 銀 行 )	36円 (17) (17) ( 2 )
(b) 売買委託手数料 ( 株 式 )	6 ( 6 )
(c) 有価証券取引税 ( 株 式 )	1 ( 1 )
(d) 保管費用等	1
合 計	44

(注) 作成中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

(a) 信託報酬 = 作成中の平均基準価額 × 信託報酬率

(b) 売買委託手数料 =  $\frac{\text{作成中の売買委託手数料}}{\text{作成中の平均受益権口数}}$

(c) 有価証券取引税 =  $\frac{\text{作成中の有価証券取引税}}{\text{作成中の平均受益権口数}}$

(d) 保管費用等 =  $\frac{\text{作成中の保管費用等}}{\text{作成中の平均受益権口数}}$

なお、売買委託手数料、有価証券取引税および保管費用等は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

売買および取引の状況（2011年7月16日から2012年1月16日まで）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	第 33 期 ～ 第 34 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
世界優良株マザーファンド	千口 19,736	千円 16,500	千口 386,686	千円 327,500

(注) 単位未満は切捨て。

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合（2011年7月16日から2012年1月16日まで）

項 目	第 33 期 ～ 第 34 期	
	世界優良株ファンド (3ヵ月決算型)	世界優良株 マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	—	2,551,157千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	—	3,160,989千円
(c) 売買高比率(a)/(b)	—	0.80

(注) (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 単位未満は切捨て。

**利害関係人との取引状況等** (2011年7月16日から2012年1月16日まで)

当作成期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

**組入資産の明細** (2012年1月16日現在)

**親投資信託残高**

種 類	前 作 成 期 末 (第 32 期 末)	当 作 成 期 末 (第 34 期 末)	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
世界優良株マザーファンド	3,642,372	3,275,422	2,852,565

(注) 世界優良株マザーファンド全体の受益権口数は、3,807,793千口です。

(注) 単位未満は切捨て。

**投資信託財産の構成** (2012年1月16日現在)

項 目	当 作 成 期 末 (第 34 期 末)	
	評 価 額	比 率
	千円	%
世界優良株マザーファンド	2,852,565	97.0
コール・ローン等、その他	87,133	3.0
投資信託財産総額	2,939,698	100.0

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

なお、当作成期末における邦貨換算レートは下記の通りです。

1 アメリカ・ドル=76.85円	1 カナダ・ドル=75.00円	1 ユーロ=97.20円
1 イギリス・ポンド=117.55円	1 スイス・フラン=80.52円	1 ノルウェー・クローネ=12.67円
1 デンマーク・クローネ=13.07円	1 オーストラリア・ドル=78.92円	1 香港・ドル=9.89円
1 シンガポール・ドル=59.42円		

(注) 世界優良株マザーファンドの当作成期末における外貨建純資産 (3,146,970千円) の投資信託財産総額 (3,316,266千円) に対する比率は94.9%です。

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## 資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

### 資産、負債、元本および基準価額の状況

2011年10月17日現在 2012年1月16日現在

項 目	第 33 期 末	第 34 期 末
(A) 資 産	3,111,708,978円	2,939,698,326円
コール・ローン等	72,020,441	87,132,602
世界優良株マザーファンド(評価額)	3,039,688,439	2,852,565,605
未 収 利 息	98	119
(B) 負 債	48,959,197	44,198,098
未 払 収 益 分 配 金	34,766,007	32,355,305
未 払 解 約 金	1,481,577	54,537
未 払 信 託 報 酬	12,651,801	11,732,792
そ の 他 未 払 費 用	59,812	55,464
(C) 純資産総額(A-B)	3,062,749,781	2,895,500,228
元 本	6,953,201,582	6,471,061,076
次 期 繰 越 損 益 金	△3,890,451,801	△3,575,560,848
(D) 受 益 権 総 口 数	6,953,201.582口	6,471,061.076口
1万口当たり基準価額(C/D)	4.405円	4.475円

	第33期	第34期
(注) 期首元本額	6,982,676,425円	6,953,201,582円
期中追加設定元本額	147,363,254円	125,753,106円
期中一部解約元本額	176,838,097円	607,893,612円

- (注) 元本の欠損  
第34期末現在、純資産総額は元本を下回っており、その差額は3,575,560,848円です。
- (注) 1口当たり純資産額は、第33期0.4405円、第34期0.4475円です。

### 分配金の計算過程

#### [第33期]

計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,205,418円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、収益調整金(639,232,968円)および分配準備積立金(0円)より、分配対象収益は640,438,386円(1万口当たり921円)であり、うち34,766,007円(1万口当たり50円)を分配金額としております。

#### [第34期]

計算期間末における費用控除後の配当等収益(11,409,670円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、収益調整金(563,687,445円)および分配準備積立金(0円)より、分配対象収益は575,097,115円(1万口当たり888円)であり、うち32,355,305円(1万口当たり50円)を分配金額としております。

### 損益の状況

第33期 自2011年7月16日 至2011年10月17日  
第34期 自2011年10月18日 至2012年1月16日

項 目	第 33 期	第 34 期
(A) 配 当 等 収 益	7,651円	5,883円
受 取 利 息	7,651	5,883
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 532,973,924	89,070,550
売 買 益	12,360,870	90,302,769
売 買 損	△ 545,334,794	△ 1,232,219
(C) 信 託 報 酬 等	△ 12,711,613	△ 11,788,256
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	△ 545,677,886	77,288,177
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 2,985,274,482	△ 3,228,535,553
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 324,733,426	△ 391,958,167
(配当等相当額)	( 639,172,005)	( 563,675,419)
(売買損益相当額)	(△ 963,905,431)	(△ 955,633,586)
(G) 合 計 (D+E+F)	△ 3,855,685,794	△ 3,543,205,543
(H) 収 益 分 配 金	△ 34,766,007	△ 32,355,305
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△ 3,890,451,801	△ 3,575,560,848
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 358,294,015	△ 412,903,802
(配当等相当額)	( 605,672,379)	( 542,741,810)
(売買損益相当額)	(△ 963,966,394)	(△ 955,645,612)
繰 越 損 益 金	△ 3,532,157,786	△ 3,162,657,046

(注) 損益の状況の中で

- (B)有価証券売買損益は、各期末の評価換えによるものを含みます。
- (C)信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

## 分配金のご案内

	1 万口（元本10,000円）当たり分配金（税込み）
第33期	50円
第34期	50円

お支払場所

取扱販売会社 本・支店

## 世界優良株マザーファンド

第17期運用報告書 [決算日 2012年1月16日]

(計算期間 2011年7月16日から2012年1月16日まで)

「世界優良株マザーファンド」は、「世界優良株ファンド（3ヵ月決算型）」が投資対象とする親投資信託であり、信託財産の運用を行っております。以下、法令・諸規則に基づき期中の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	信託期間は原則無期限です。
運用方針	信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。
主要運用対象	主として、世界主要国（日本を除く）の金融商品取引所に上場されている企業の株式およびそれに準ずる株式に投資します。
組入制限	株式への投資には制限を設けません。外貨建資産への投資には制限を設けません。

### 最近5期の運用実績、基準価額の推移等

#### 最近5期の運用実績

決算期	基準価額		MSCI-KOKUSAIインデックス (配当込み、円換算) (参考指数)		株式 組入比率	株式 先物比率	純資産 総額
	円	期中 騰落率	期中 騰落率	%			
13期 (2010年1月15日)	10,727	26.7	1,154.54	27.4	97.1	—	百万円 5,885
14期 (2010年7月15日)	9,525	△11.2	1,043.48	△9.6	94.5	—	4,771
15期 (2011年1月17日)	10,487	10.1	1,169.07	12.0	94.2	—	4,864
16期 (2011年7月15日)	9,939	△5.2	1,141.04	△2.4	91.5	—	3,953
17期 (2012年1月16日)	8,709	△12.4	1,032.75	△9.5	94.5	—	3,316

(注) 基準価額は1万円当たり。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは、ベンチマークを設定しておりません。参考指数であるMSCI-KOKUSAIインデックス（配当込み、円換算）は、MSCI-KOKUSAIインデックス（ドルベース）【出所：MSCI】をもとに当社において円換算したものです。

なお、指数算出にあたっては、基準価額への反映を考慮して営業日前日の指数を営業日当日の三菱東京UFJ銀行が発表する対顧客電信売買相場の仲値（TTM）で円換算しております。

## 当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準価額		MSCI-KOKUSAIインデックス (配当込み、円換算)		株式 組入比率	株式 先物比率
	騰落率		(参考指数)	騰落率		
期首(前期末) 2011年7月15日	円 9,939	% —	1,141.04	% —	% 91.5	% —
7月末	9,729	△ 2.1	1,123.66	△ 1.5	93.0	—
8月末	8,419	△15.3	1,012.49	△11.3	90.8	—
9月末	7,908	△20.4	952.36	△16.5	90.5	—
10月末	8,883	△10.6	1,082.06	△ 5.2	92.0	—
11月末	8,247	△17.0	990.22	△13.2	91.7	—
12月末	8,557	△13.9	1,024.25	△10.2	94.6	—
期 末 2012年1月16日	8,709	△12.4	1,032.75	△ 9.5	94.5	—

(注) 基準価額は1万円当たり。騰落率は期首比。

(注) 先物比率＝買建比率－売建比率

(注) 当ファンドは、ベンチマークを設定しておりません。参考指数であるMSCI-KOKUSAIインデックス（配当込み、円換算）は、MSCI-KOKUSAIインデックス（ドルベース）【出所：MSCI】をもとに当社において円換算したものです。

なお、指数算出にあたっては、基準価額への反映を考慮して営業日前日の指数を営業日当日の三菱東京UFJ銀行が発表する対顧客電信売買相場の仲値（TTM）で円換算しております。

\*MSCI-KOKUSAIインデックスはMSCIが開発した株価指数で、日本を除く世界の主要国の株式市場の動きを捉える指数です。当インデックスに関する全ての情報は、信頼の置ける情報源から得たものでありますが、その正確性及び完全性をMSCIは何ら保証するものではありません。その著作権はMSCIに帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的は一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いて出版物、資料、データ等の全部または一部を複製・頒布・使用等することは禁じられています。

## 当期の運用状況と今後の運用方針

3、6～8ページをご参照ください。

## 1万円（元本10,000円）当たりの費用明細（2011年7月16日から2012年1月16日まで）

### 費用の明細

項 目	当 期
(a) 売買委託手数料 (株 式)	12円 (12)
(b) 有価証券取引税 (株 式)	2 (2)
(c) 保管費用等	1
合 計	15

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

(a) 売買委託手数料＝ $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$

(b) 有価証券取引税＝ $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$

(c) 保管費用等＝ $\frac{\text{期中の保管費用等}}{\text{期中の平均受益権口数}}$

(注) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

売買および取引の状況 (2011年7月16日から2012年1月16日まで)

外国株式

	買 付		売 付	
	株 数	金 額	株 数	金 額
アメリカ	百株 2,860.2	千アメリカ・ドル 9,018	百株 6,217.77	千アメリカ・ドル 11,707
イギリス	百株 974	千イギリス・ポンド 1,358	百株 552	千イギリス・ポンド 497
スイス	百株 482.3	千スイス・フラン 2,288	百株 54.6	千スイス・フラン 212
デンマーク	百株 7	千デンマーク・クローネ 293	百株 31	千デンマーク・クローネ 1,177
ユーロ (ドイツ)	百株 162	千ユーロ 655	百株 335.73	千ユーロ 1,289
(イタリア)	百株 57	千ユーロ 89	百株 242	千ユーロ 377
(フランス)	百株 45.7	千ユーロ 372	百株 223.7	千ユーロ 783
(オランダ)	百株 401	千ユーロ 969	百株 13	千ユーロ 34

(注) 金額は受渡代金。単位未満は切捨て。ただし株数が単位未満の場合は小数で記載。

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合 (2011年7月16日から2012年1月16日まで)

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	2,556,135千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	3,160,989千円
(c) 売買高比率(a)/(b)	0.80

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 単位未満は切捨て。

当期中の主要な売買銘柄 (2011年7月16日から2012年1月16日まで)

外国株式 (上位10銘柄)

買 付				売 付			
銘 柄	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
マイクロソフト	52.1	109,370	2,099	メルク	37.72	107,985	2,862
ユニリーバ	40.1	103,774	2,587	ニューフィールド・エクスプロレーション	25.486	91,859	3,604
ウォルト・ディズニー	36.7	102,363	2,789	CVSケアマーク	27.8	89,398	3,215
ノバルティス	23.1	97,546	4,222	ヘンケル	15.573	73,676	4,731
セント・ジュード・メディカル	32.2	92,136	2,861	ダウ・ケミカル	33.355	69,699	2,089
BGグループ	58	90,533	1,560	コムキャスト	40.787	69,656	1,707
バイエル	16.2	68,616	4,235	クアルコム	15.244	64,286	4,217
ペプシコ	12.9	64,972	5,036	グーグル	1.26	59,212	46,994
EMC	30.1	52,249	1,735	サブラン	19.4	50,396	2,597
チュールビ・ファイナンシャル・サービス	2.8	50,702	18,107	スプリント・ネクステル	263.142	46,447	176

(注) 金額は受渡代金。単位未満は切捨て。ただし株数が単位未満の場合は小数で記載。

(注) 株式分割、合併等による増減分の調整は行っておりません。

利害関係人との取引状況等 (2011年7月16日から2012年1月16日まで)

当期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2012年1月16日現在)

下記は、世界優良株マザーファンド全体 (3,807,793千口) の内容です。

外国株式

銘柄	期首(前期末)	当 期 末		業 種 等	
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額		邦貨換算金額
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
ウエザーフォード・インターナショナル	317	211	321	24,728	エネルギー
シュルンベルジェ	123.75	124.75	848	65,182	エネルギー
デボン・エナジー	153	179	1,129	86,801	エネルギー
ニューフィールド・エクスプロレーション	254.86	—	—	—	エネルギー
ダウ・ケミカル	333.55	—	—	—	素材
ゼネラル・エレクトリック	937	937	1,765	135,663	資本財・サービス
ハネウェル・インターナショナル	118.8	217.8	1,234	94,904	資本財・サービス
D I S Hネットワーク	206.79	209.79	603	46,351	一般消費財・サービス
ウォルト・ディズニー	—	345	1,324	101,810	一般消費財・サービス
コムキャスト	387.87	—	—	—	一般消費財・サービス
ジョンソンコントロールズ	190	188	658	50,639	一般消費財・サービス
ステープルズ	362	—	—	—	一般消費財・サービス
バージン・メディア	150	301	707	54,382	一般消費財・サービス
ロウズ	300	300	789	60,680	一般消費財・サービス
CVSケアマーク	262	—	—	—	生活必需品
ゼネラルミルズ	273.42	273.42	1,111	85,394	生活必需品
ペプシコ	122.5	244.5	1,574	121,006	生活必需品
ウェルポイント	100.78	96.78	695	53,483	ヘルスケア
サーモ・フィッシャー・サイエンティフィック	208	208	1,026	78,884	ヘルスケア
セント・ジュード・メディカル	—	313	1,165	89,577	ヘルスケア
テバ・ファーマシューティカル・インダストリーズ	281	284	1,265	97,232	ヘルスケア
メルク	350.2	—	—	—	ヘルスケア
CMEグループ	58.34	58.54	1,372	105,496	金融
J Pモルガン・チェース	276.46	228.46	820	63,065	金融
US バンコープ	346	245	711	54,658	金融
アフラック	142.76	—	—	—	金融
トラベラーズ・カンパニーズ	171.53	220.53	1,309	100,652	金融
バンク・オブ・アメリカ	520.27	—	—	—	金融
プルデンシャル・ファイナンシャル	162.4	114.4	632	48,573	金融
EMC	586.54	846.54	1,883	144,750	情報技術
アドビ・システムズ	398	398	1,153	88,608	情報技術
クアルコム	143.44	—	—	—	情報技術

銘柄		期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
		株 数	株 数	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)		百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
グーグル		31.12	20.72	1,294	99,519	情報技術
シスコシステムズ		—	302	575	44,235	情報技術
マイクロソフト		—	491	1,386	106,558	情報技術
スプリント・ネクステル		2,446.42	—	—	—	電気通信サービス
アメリカ・ドル 通貨計		株数・金額 10,715.8	株数・金額 7,358.23	外貨建金額 27,362	邦貨換算金額 2,102,844	
		銘柄数<比率> 32銘柄	銘柄数<比率> 26銘柄	—	<63.4%>	
(イギリス)		百株	百株	千イギリス・ポンド	千円	
BGグループ		—	389	565	66,441	エネルギー
リオ・ティント		216.33	230.33	820	96,415	素材
リード・エルゼビア		1,438.61	1,554.61	811	95,392	一般消費財・サービス
レキットベンキナーザー		—	104	344	40,465	生活必需品
HSBCホールディングズ		798.72	597.72	301	35,461	金融
イギリス・ポンド 通貨計		株数・金額 2,453.66	株数・金額 2,875.66	外貨建金額 2,842	邦貨換算金額 334,175	
		銘柄数<比率> 3銘柄	銘柄数<比率> 5銘柄	—	<10.1%>	
(スイス)		百株	百株	千スイス・フラン	千円	
シンジェンタ		16.72	26.92	768	61,863	素材
ノバルティス		—	217.5	1,152	92,819	ヘルスケア
UBS		478.04	652.04	742	59,747	金融
チューリッヒ・ファイナンシャル・サービスズ		—	26	568	45,785	金融
スイス・フラン 通貨計		株数・金額 494.76	株数・金額 922.46	外貨建金額 3,231	邦貨換算金額 260,215	
		銘柄数<比率> 2銘柄	銘柄数<比率> 4銘柄	—	<7.8%>	
(デンマーク)		百株	百株	千デンマーク・クローネ	千円	
カールスバーグ		171.5	147.5	6,165	80,583	生活必需品
デンマーク・クローネ 通貨計		株数・金額 171.5	株数・金額 147.5	外貨建金額 6,165	邦貨換算金額 80,583	
		銘柄数<比率> 1銘柄	銘柄数<比率> 1銘柄	—	<2.4%>	
(ユーロ・・・ドイツ)		百株	百株	千ユーロ	千円	
ハイデルベルグセメント		121	—	—	—	素材
ヘンケル		155.73	—	—	—	生活必需品
バイエル		100.59	203.59	1,075	104,525	ヘルスケア
国 小 計		株数・金額 377.32	株数・金額 203.59	外貨建金額 1,075	邦貨換算金額 104,525	
		銘柄数<比率> 3銘柄	銘柄数<比率> 1銘柄	—	<3.2%>	
(ユーロ・・・イタリア)		百株	百株	千ユーロ	千円	
ENI		745	560	912	88,669	エネルギー
国 小 計		株数・金額 745	株数・金額 560	外貨建金額 912	邦貨換算金額 88,669	
		銘柄数<比率> 1銘柄	銘柄数<比率> 1銘柄	—	<2.7%>	

銘柄		期首(前期末)	当 期 末		業 種 等	
		株 数	株 数	評 価 額		
				外貨建金額		邦貨換算金額
(ユーロ・・・フランス) サフラン		百株 462.53	百株 284.53	千ユーロ 685	千円 66,665	資本財・サービス
国 小 計	株 数 ・ 金 額	462.53	284.53	685	66,665	
	銘 柄 数 <比 率>	1銘柄	1銘柄	—	<2.0%>	
(ユーロ・・・オランダ) ユニリーバ		百株 —	百株 388	千ユーロ 988	千円 96,056	生活必需品
国 小 計	株 数 ・ 金 額	—	388	988	96,056	
	銘 柄 数 <比 率>	—	1銘柄	—	<2.9%>	
ユ ー ロ 計	株 数 ・ 金 額	1,584.85	1,436.12	3,661	355,917	
	銘 柄 数 <比 率>	5銘柄	4銘柄	—	<10.7%>	
フ ザ ン ド 計	株 数 ・ 金 額	15,420.57	12,739.97	—	3,133,735	
	銘 柄 数 <比 率>	43銘柄	40銘柄	—	<94.5%>	

(注) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

(注) 株数・評価額の単位未満は切捨て。ただし株数が単位未満の場合は小数で記載。

## 投資信託財産の構成 (2012年1月16日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株 式	3,133,735	94.5
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	182,531	5.5
投 資 信 託 財 産 総 額	3,316,266	100.0

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

なお、当期末における邦貨換算レートは下記の通りです。

1 アメリカ・ドル=76.85円	1 カナダ・ドル=75.00円	1 ユーロ=97.20円
1 イギリス・ポンド=117.55円	1 スイス・フラン=80.52円	1 ノルウェー・クローネ=12.67円
1 デンマーク・クローネ=13.07円	1 オーストラリア・ドル=78.92円	1 香港・ドル=9.89円
1 シンガポール・ドル=59.42円		

(注) 当期末における外貨建純資産 (3,146,970千円) の投資信託財産総額 (3,316,266千円) に対する比率は94.9%です。

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## 資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

### 資産、負債、元本および基準価額の状況

2012年1月16日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	3,316,266,542円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	177,762,487
株 式(評価額)	3,133,735,814
未 収 配 当 金	4,768,010
未 収 利 息	231
(B) 純 資 産 総 額(A)	3,316,266,542
元 本	3,807,793,369
次 期 繰 越 損 益 金	△ 491,526,827
(C) 受 益 権 総 口 数	3,807,793,369口
1万口当たり基準価額(B/C)	8,709円

(注) 期首元本額 3,978,359,682円

期中追加設定元本額 320,759,432円

期中一部解約元本額 491,325,745円

(注) 元本の欠損

当期末現在、純資産総額は元本を下回っており、その差額は491,526,827円です。

(注) 1口当たり純資産額は0.8709円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本の内訳  
 世界優良株ファンド(3ヵ月決算型) 3,275,422,672円  
 世界優良株ファンド(毎月決算型) 532,370,697円

### 損益の状況

当期 自2011年7月16日 至2012年1月16日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	30,152,872円
受 取 配 当 金	30,062,194
受 取 利 息	75,801
そ の 他 収 益 金	14,877
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△506,214,405
売 買 損 益	133,087,154
売 買 損	△639,301,559
(C) そ の 他 費 用	△ 511,459
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△476,572,992
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 24,451,076
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 54,459,432
(G) 解 約 差 損 益 金	63,956,673
(H) 合 計(D+E+F+G)	△491,526,827
次 期 繰 越 損 益 金(H)	△491,526,827

(注) 損益の状況の中で

(B) 有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(G) 解約差損益金とあるのは、一部解約の際、元本から解約価額を差引いた差額分をいいます。

**T&D**

T&D保険グループ